

平成27年度 就実大学大学院・就実大学・就実短期大学の中期目標・中期計画に基づく各部局年度計画及び実行計画と達成状況

部局名（学部又は事務部）： キャリアセンター

学科名：

平成28年3月31日

中期計画	中期計画期間中の具体的な取組・実行内容	部局および学科における27年度計画と実行計画		計画達成状況	担当者評価	学長評価
		平成27年度計画	平成27年度実行内容			
		(左欄の具体的な取組・実行内容に基づいて計画する。さらに、新たな取り組み等について計画実行する)	(平成27年計画の具体的実行内容を具体的に且つ定量的に記載する)	上段：中間報告 下段：最終報告		
2) 就職支援に関する具体的方策						
①学生には、在学の段階に応じた順次性のあるキャリア教育や職業教育を体系的に実施する。	①学生の将来生活の設計に有用なキャリア教育や職業教育を順次性のある体系的な教育システムの構築とその効果的实施を行う。具体的には、学生がサークルなどの課外活動・ボランティア・インターンシップなどを通じて広く社会に目を向け、将来に有用な知識・態度を身につけられるよう支援する。	①1年次からキャリアに対する意識を高めるために、入学時から目的意識を持って学生生活を送る大切さを理解してもらうためのガイダンス、講演等の充実を図るとともにボランティア・インターンシップ等の情報発信に努める。	①学生が将来設計できるように、1年次キャリアガイダンスから、卒業年次に向けて順次性のあるガイダンス・講演会カリキュラムを計画し実施する。例えば、自己評価及び他己評価などを実施する。また、ボランティア・インターンシップの情報提供を行う。	①1年次キャリアガイダンスは、「～社会人の第一歩！＝学ぶを楽しむ&働くを楽しむ～」というテーマで実施。351人(68.8%)が出席し、アンケートも概ね好評であった。2年次キャリアガイダンスは、2月の実施予定である。	△	△
				①2年次キャリアガイダンスを2月に実施したが、告知不足と開催時期が悪かったため、参加者が約100名と少なかった。次年度は、早めの実施と周知の仕方を工夫する。		
②学生のピアサポート体制による学生就職支援などの制度検討と実行を推進する。	②就職支援の専門家及びその補助者として活動できる学生ボランティアや就職活動を支援できる学生リーダーを養成し、持続可能なピアサポート体制を整備し、学生自身が問題解決のできる教育活動の場を提供する。	②「就活カフェ」「就職活動体験報告会」を継続して行い、内容の充実を図る。	②「就活カフェ」「就職活動体験報告会」の参加者数10%増を目標に、開催時期・内容・コメントターの確保について検討し実施する。	②「就活カフェ」は、一般就職希望者・幼保専門就職希望者対象にそれぞれの日程で実施。前半は12月で終了し、後半は翌1月に実施予定。「就職活動体験報告会」も同様に実施し、一般就職希望者向けは12月に実施した。コメントター11名、参加学生158名であった。幼保専門就職は2月に実施予定。	△	○
				②1月実施にも「就活カフェ」を実施、その後学生の自発的な活動により、2月にも実施した。人数は少なかったが上級生の後輩のためにという意気込みが感じられた。幼保専門就職向けの「就職活動体験報告会」も8名の報告者により貴重な体験報告会となった。		

<p>③学生の就職に際して、卒業生の活用などミスマッチの無い就職支援システムを構築し、実施する。</p>	<p>③卒業後の進路や就職状況を分析し、ミスマッチのない就職支援と同時に大学として高い就職率を確保する。大学院生に対して多様なキャリアパスを考慮した就職支援を推進する。</p>	<p>③ミスマッチの無い就職ができるように社会で求められる人材の調査・分析を行う。</p>	<p>③企業・幼稚園・保育所を訪問し、学生に求める人物像の調査・分析を行う。その結果をキャリアガイダンス・キャリア相談を通じて学生に理解させ、ミスマッチのない就職ができるようサポートする。訪問件数年間800件を目標にする。</p>	<p>③訪問スタッフの不足により、目標件数に遠く及ばない。年明けより内定お礼、新卒求人への依頼のため訪問したい。訪問先でのヒアリング内容を課内ミーティング・訪問記録の回覧により企業の情報を共有している。</p>	<p>△</p>	<p>×</p>
<p>④同窓会やインターネット等を活用した学生就職支援システムを構築して、効果的な学生就職支援を行う。</p>	<p>④同窓会や卒業生と在学生の人的ネットワークを構築し、就職支援に活用する制度システムを整備する。</p>	<p>④卒業生の動向調査を行い、アンケートを実施する。また、「卒業生と語る会」を継続実施し、卒業生との交流により在学生の就職活動への意欲を高める。</p>	<p>④企業・幼稚園・保育園の訪問時に卒業生の動向調査を行い、アンケートを実施し、卒業生の在職状況を把握する。また、「卒業生と語る会」で卒業生との交流を深め、就職活動への不安を和らげ就職するという意欲を高める。</p>	<p>④③と同様に訪問ができていないため、卒業生の動向調査はできていない。1～3月で可能な限り訪問と動向調査を実施したい。</p>	<p>×</p>	<p>×</p>
				<p>④年度内のアンケートとは実施できなかった。企業への求人依頼・お礼訪問などを利用して、卒業生の動向を調査する。2月に実施した「卒業生と語る会」では、27名の卒業生に参加していただき、有意義な企業研究が出来た。次年度は、複数回実施したい。</p>	<p>△</p>	<p>△</p>